



住まいのウチイケのモデルハウスを視察する
東北電力や工務店の一行

「ウチイケ」の事業視察

室蘭 岩手の工務店など訪問

岩手県の工務店など10社と東北電力の担当者が1日、室蘭市八丁平の住まいのウチイケ（内池秀光代表取締役）のモデルハウスを

訪れ、エアコン1台で住宅全室を冷暖房できる新システムの実証事業を視察した。

一行13人は同日午前、モデルハウスを訪れ、新システムを共同開発するシステム環境研究所の西郷昌高業務推進室長の説明を受けた。エアコン1台と6基の省エネ送風機で住宅全室を冷暖房するシステムにより、24度の設定で室温は22

〜23度に保たれていることを確認。環境快適性を計測する機器も見て回った。

東北電力盛岡営業所の嘉倉陽司販売課長は「エアコン1台でも均一に温度分布している。セントラルヒーティングのパネルヒーターとの比較検討も行われている興味深い」と語った。

高気密・高断熱住宅の先進地の住宅を視察しようとして、東北電力盛岡営業所が中心となってツアーを企画。道内と東北の住宅雑誌「リプラン」が協力し、1月30日に来道。札幌市の住宅2軒なども視察した。

（栗島暁浩）